

2024年6月25日
共英製鋼株式会社

メスキュード医療安全基金の贈呈式が行われました

共英製鋼株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 廣富靖以）は、メスキュード医療安全基金（理事長・株式会社共英メソナ代表取締役社長 高島浩司）による寄付を実施し、6月5日にその贈呈式が執り行われました。

メスキュード医療安全基金は、医療系廃棄物の収集・運搬・処理を行う運搬会社や処理会社、代理店の理解を得て、医療廃棄物の取扱数量に応じて基金を積み立て、医療活動や福祉環境活動の発展に貢献するために寄付を行っています。平成14年の設立から22年連続で寄付を行い、寄付実績は累計4.6億円超となりました。

この度の贈呈式では、国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）、佛子園（石川県能登町）、THANKYOU FUND（大阪府枚方市）、鳥取大学医学部付属病院高度救命救急センター（鳥取県米子市）、DNDi Japan（東京都新宿区）、がんの子どもを守る会（東京都台東区）の6団体の代表の方にお越しいただき、理事長の高島から寄付金の目録を贈呈しました。

今回の寄付は、上記団体の活動を通じて、保健医療提供体制の整備や治療薬・治療法の開発、また2024年元日に発生した能登半島地震の避難者の健康維持活動など、さまざまな取り組みに活用される予定です。

共英製鋼グループは、このような寄付活動を継続し、引き続き社会や地域に貢献する企業を目指してまいります。



右から THANKYOU FUND 矢野代表理事
（阪神タイガース前監督）、高島理事長



右から矢野代表理事、廣富社長